

貸借対照表

(2021年3月31日現在)

株式会社東急ホテルズ

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	11,083,478	流動負債	23,723,627
現金及び預金	173,418	買掛金	295,821
売掛金	1,927,325	短期借入金	10,000,000
原材料及び貯蔵品	581,381	リース債務	53,060
前払費用	1,157,634	未払金	1,127,079
未収入金	4,406,004	未払費用	5,704,907
短期貸付金	2,380,699	未払法人税等	12,552
その他	466,574	前受金	803,068
貸倒引当金	△ 9,559	預り金	4,693,757
固定資産	19,233,099	賞与引当金	81,163
有形固定資産	11,698,141	ポイント引当金	444,823
建物	8,592,064	事業所整理損失引当金	311,000
構築物	39,815	資産除去債務	170,000
機械装置	51,413	その他	26,393
船舶	4,268	固定負債	2,103,610
車輛運搬具	3,572	リース債務	112,821
工具器具備品	2,849,977	長期預り金	1,299,498
リース資産	109,211	繰延税金負債	47,469
建設仮勘定	47,818	資産除去債務	643,820
無形固定資産	596,164	負債合計	25,827,237
電話加入権	20,832	(純資産の部)	
施設利用権	35	株主資本	4,489,340
商標権	899	資本金	100,000
ソフトウェア	572,415	資本剰余金	25,108,301
ソフトウェア仮勘定	1,980	資本準備金	9,708,301
投資その他の資産	6,938,794	その他資本剰余金	15,400,000
投資有価証券	1,846	利益剰余金	△ 20,718,960
関係会社株式	193,998	その他利益剰余金	△ 20,718,960
長期貸付金	120,000	繰越利益剰余金	△ 20,718,960
長期前払費用	270,866		
敷金及び保証金	6,223,808	純資産合計	4,489,340
その他	132,245		
貸倒引当金	△ 3,972	負債・純資産合計	30,316,578
資産合計	30,316,578		

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

損益計算書

〔 2020年4月 1日から

2021年3月31日まで 〕

株式会社東急ホテルズ

(単位：千円)

科 目	金	額
売上高		27,501,850
売上原価		3,916,131
売上総利益		23,585,718
販売費及び一般管理費		45,938,517
営業損失		△ 22,352,798
営業外収益		
受取利息及び配当金	7,310	
その他の営業外収益	106,439	113,749
営業外費用		
支払利息	60,644	
開業費	425,484	
その他の営業外費用	106,959	593,089
経常損失		△ 22,832,138
特別利益		
雇用調整助成金	5,737,607	5,737,607
特別損失		
減損損失	4,090,016	
休業手当	4,057,338	
臨時休業等による損失	1,079,181	
事業所整理損失	418,898	
子会社株式評価損	95,205	
資産除去債務履行差額	7,032	
ネクストキャリア支援金	51,588	
竣工撤去損	35,128	
固定資産除却損	5,029	9,839,418
税引前当期純損失		△ 26,933,950
法人税、住民税及び事業税		12,552
法人税等調整額		196,637
当期純損失		△ 27,143,139

(注) 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

(重要な会計方針に係る事項に関する注記)

1. 資産の評価基準及び評価方法

(1) 有価証券

イ. 子会社株式

移動平均法による原価法

ロ. その他有価証券

時価のないもの

移動平均法による原価法

(2) たな卸資産

総平均法による原価法

(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定)

2. 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 (リース資産を除く): 定額法

無形固定資産 (リース資産を除く): 定額法

ただし、ソフトウェア (自社利用分) については、社内における利用可能期間 (5年) に基づく定額法によっております。

リース資産: 定額法

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法によっております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

期末現在に有する売掛金等の債権の貸倒による損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 賞与引当金

従業員に対する賞与の支給に備えるため、翌期の支給見込額のうち当期の負担分を計上しております。

(3) ポイント引当金

顧客に付与されたポイントの使用による費用発生に備えるため、当期末において将来使用されると見込まれる額を計上しております。

(4) 事業所整理損失引当金

事業所の整理に伴う損失に備えるため、損失発生見込額を計上しております。

4. 消費税及び地方消費税の会計処理

税抜方式によっております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積りについて)

新型コロナウイルス感染症の影響につきましては、感染拡大と収束を繰り返しながらワクチンの普及とともに徐々に終息していくものと考え、当社ホテル事業の国内利用客については2022年3月期に新型コロナウイルス感染拡大前の水準まで概ね回復し、訪日外国人利用客については3年程度かけて回復していくものと仮定し、固定資産の減損及び繰延税金資産の回収可能性について見積りや判断を行っております。しかしながら、当該仮定については不確実性を伴うため、今後の状況によっては見積りや判断に影響を及ぼす可能性があります。

(表示方法の変更)

(「会計上の見積りの開示に関する会計基準」の適用)

「会計上の見積りの開示に関する会計基準」(企業会計基準第31号 2020年3月31日)を当事業年度の年度末に係る計算書類から適用し、計算書類に重要な会計上の見積りに関する注記を記載しております。

(会計上の見積りの注記)

1. 固定資産の減損

(1) 当事業年度の計算書類に計上した金額

有形固定資産及び無形固定資産 12,294,305千円

減損損失 4,090,016千円

(2) その他の情報

固定資産の減損の認識判定は、追加情報に記載の新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定を前提とした将来キャッシュ・フローの見積りに基づいて行っております。当該見積りは、新型コロナウイルス感染症の影響に関する仮定に係る不確実性を含むとともに、将来の経済環境の変化などによっても影響を受けるため、将来キャッシュ・フローの金額が当該見積りから乖離した場合は、翌事業年度の計算書類において、減損損失を計上する可能性があります。

(貸借対照表等に関する注記)

1. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 有形固定資産減価償却累計額 21,568,596千円

3. 関係会社に対するものが次のとおり含まれております。

短期金銭債権 98,227千円

長期金銭債権 90千円

短期金銭債務 16,028,444千円

長期金銭債務 9,286千円

(損益計算書に関する注記)

1. 記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示しております。

2. 関係会社に対するものが次のとおり含まれております。

営業収益のうち関係会社との取引高 115,715千円

営業費用のうち関係会社との取引高 17,797,837千円

営業取引以外の関係会社との取引高 247,242千円

3. 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う特例措置期間(2020年4月から2021年3月31日まで)における雇用調整助成金5,737,607千円を特別利益に計上しております。また、対応する期間の休業手当4,057,338千円を特別損失に計上しております。

4. 2020年4月に政府より発令された新型コロナウイルス対策の特別措置法に基づく緊急事態宣言期間において休業した店舗の賃借料及び減価償却費1,079,181千円を「臨時休業等による損失」として、特別損失に計上しております。

5. 減損損失

当事業年度において、当社は以下に記載した資産グループについて減損損失を計上しました。

(単位:千円)

場所	用途	種類	減損損失
横浜ベイホテル東急 (神奈川県横浜市)	店 舗	建 物	293,109
		その他	213,961
		計	507,071
名古屋東急ホテル (愛知県名古屋市)	店 舗	建 物	56,223
		その他	24,347
		計	80,570
金沢東急ホテル (石川県金沢市)	店 舗	建 物	125,530
		その他	116,044
		計	241,575
今井浜東急ホテル (静岡県賀茂郡)	店 舗	建 物	340,840
		その他	66,255
		計	407,096
下田東急ホテル (静岡県下田市)	店 舗	建 物	93,427
		その他	60,849
		計	154,277
白馬東急ホテル (長野県北安曇野郡)	店 舗	建 物	218,763
		その他	102,464
		計	321,228
赤坂エクセルホテル東急 (東京都千代田区)	店 舗	建 物	534,309
		その他	95,252
		計	629,562
松江エクセルホテル東急 (島根県松江市)	店 舗	建 物	174,302
		その他	19,388
		計	193,690
東京虎ノ門東急REIホテル (東京都港区)	店 舗	建 物	176,961
		その他	58,523
		計	235,484
大森東急REIホテル (東京都大田区)	店 舗	建 物	1,118
		その他	7,831
		計	8,949
川崎キングスカイフロント東急REIホテル (神奈川県川崎市)	店 舗	建 物	179,940
		その他	168,241
		計	348,181
名古屋栄東急REIホテル (愛知県名古屋市)	店 舗	建 物	159,772
		その他	67,268
		計	227,041
新大阪江坂東急REIホテル (大阪府吹田市)	店 舗	建 物	180,183
		その他	135,010
		計	315,193
神戸元町東急REIホテル (兵庫県神戸市)	店 舗	建 物	84,836
		その他	13,031
		計	97,868
高松東急REIホテル (香川県高松市)	店 舗	建 物	76,636
		その他	64,092
		計	140,728
松山東急REIホテル (愛媛県松山市)	店 舗	建 物	117,720
		その他	48,819
		計	166,540
鹿児島東急REIホテル (鹿児島県鹿児島市)	店 舗	建 物	3,138
		その他	11,816
		計	14,955

当社は、キャッシュ・フローを生み出す最小単位として、店舗を基本単位としてグルーピングしております。営業活動から生じる損益が継続してマイナスである店舗、および事業所の閉鎖が決定した店舗における資産グループの帳簿価額を回収可能価額まで減額し、減損損失（4,090,916千円）として特別損失に計上しました。

なお、当該資産グループの回収可能価額は正味売却価額あるいは使用価値によって算定しております。正味売却価額は、売買事例を基に算定した時価により評価しております。また、使用価値は、将来キャッシュ・フローを5.0%で割引いて算定しております。

(税効果会計に関する注記)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

繰延税金資産	
繰越欠損金(※1)	8,943,460千円
減損損失	1,474,560千円
資産除去債務	281,501千円
ポイント引当金	153,064千円
未払事業所税	128,199千円
事業整理損失引当金	107,575千円
預り金	101,697千円
関係会社株式評価損	92,574千円
賞与引当金	28,074千円
前受金	19,269千円
貸倒引当金	4,304千円
その他	11,286千円
繰延税金資産小計	11,345,563千円
税務上の繰越欠損金に係る評価性引当額(※1)	△ 8,943,460千円
将来減算一時差異等の合計に係る評価性引当額	△ 2,402,103千円
評価性引当額小計	△ 11,345,563千円
繰延税金資産合計	—

繰延税金負債	
資産除去債務に対応する除去費用	△ 47,469千円
繰延税金負債合計	△ 47,469千円
繰延税金資産の純額	△ 47,469千円

(※1)税務上の繰越欠損金及びその繰延税金資産の繰越期限別の金額

	1年以内	1年超 2年以内	2年超 3年以内	3年超 4年以内	4年超 5年以内	5年超	合計
税務上の繰越欠損金(a)	47,832	—	272	—	2,960	8,892,394	8,943,460千円
評価性引当額(b)	47,832	—	272	—	2,960	8,892,394	8,943,460千円
繰延税金資産(c)	—	—	—	—	—	—	—

(a) 税務上の繰越欠損金は、法定実効税率を乗じた額であります。

(b) 「1年以内」、「1年超3年以内」及び「4年超5年以内」の期間において認識した評価性引当額は、税務上の繰越欠損金の期限切れによるものです。

(c) 当事業年度末において税務上の繰越欠損金が存在し、翌期の課税所得の発生が見込まれないため、税務上の繰越欠損金に対する繰延税金資産を計上していません。

(関連当事者との取引に関する注記)

1. 親会社

種類	会社名	住所	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容	議決権等の所 有(被所有)割 合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
親会社	東急㈱	東京都 渋谷区	121,724,981	不動産賃貸業	(被所有) (直接) 100.0	役員 4名	-	新株の発行 (注)1 資金の借入 利息の支払 施設の賃借	16,000,000 3,000,000 59,700 1,338,492	短期借入金 未払費用	10,000,000 189,087

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 東急株式会社が、当社の行った株主割当増資(A種優先株式)を1株につき400千円で引き受けたものになります。  
2. 当社は主として一般市場価格を勘案し、個々の取引ごとに取引条件を決定しております。  
3. 上記金額のうち、取引金額には消費税等を含めておりません。期末残高には消費税等を含めております。

2. 兄弟会社等

種類	会社名	住所	資本金又は 出資金 (千円)	事業の内容	議決権等の所 有(被所有)割 合(%)	関係内容		取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
						役員の兼任等	事業上の関係				
親会社の 子会社	東急ファイナ ンスアンドア カウンティン グ㈱	東京都 渋谷区	100,000	金銭の貸付、 財務処理業務 代行他	なし	-	資金の預入 ・借入先	利息の受取 (注)1 利息の支払 (注)1 資金の貸付 (注)2	36 944 1,334,237	短期貸付金	2,365,699

取引条件及び取引条件の決定方針等

- (注) 1. 一般的な取引条件で行っております。なお、資金借入については、市場金利を勘案して借入利率を合理的に決定しております。  
2. 資金の貸付はキャッシュマネジメントシステムによるものであり、取引が反復的に行われているため、取引金額は期中の貸付額の平均残高を記載しております。

(1株当たり情報に関する注記)

1. 1株当たりの純資産額  $\Delta$ 159,927 円 61 銭  
2. 1株当たりの当期純損失金額 377,045 円 40 銭  
※ (1) 1株当たりの純資産額の算定にあたり、純資産額から優先株式発行にかかる払込額16,000,000千円、および累積未払優先配当額4,128千円を控除しております。  
(2) 1株当たりの当期純損失額の算定にあたり、当期純損失から優先株式配当額4,128千円を控除しております

(重要な後発事象に関する注記)

該当事項はありません。